

パソコンノートテイク導入支援ガイド

やってみよう！ パソコンノートテイク



初心者用
これだけは！
改訂版

PEPNet-
Japan

もくじ

パソコンノートテイクとは？ 2

パソコンノートテイクの概要

機材の準備・接続方法 3

ノートパソコンの準備

その他の周辺機器

パソコン同士の接続方法

ネットワークの設定 6

IP アドレスの設定

IPtalk の接続設定

パソコンノートテイク体験 12

IPtalkによるパソコンノートテイク

実際にやってみよう！

聴覚障害学生用パソコンの設定

便利な機能と入力のポイント 17

IPtalk のさまざまな機能

効果的な入力のために

よくあるトラブルと解決方法 28

トラブルシューティング

参考情報



パソコン同士がうまくつながらない！

パソコン同士の接続・パートナー
設定に困ったら・・・

P28

大学での支援にあたり、「パソコンノートテイクを導入したいけれど、どうすればいいかわからない・・・」という声が聞かれます。手書きノートテイクによる支援が大学に定着してきたのを受け、より充実した支援をとお考える大学が増えてきたことの表れではないかと思えます。日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク（PEPNet-Japan）では、こうした状況にお応えして、パソコンノートテイクで活用されている「IPtalk」の操作方法をまとめた「パソコンノートテイク導入支援ガイドーやってみよう！パソコンノートテイク」を2007年10月に発行しました。「身近に専門家がいなくても、みんながパソコンノートテイクを始められるように！」という願いを込めて作成したこの冊子は、発行以来多くの大学・機関より問い合わせをいただき、「おかげでパソコンノートテイクの導入ができた！」とのうれしい反響もいただいています。

その後、ガイドをお読みいただいた方々から、「この冊子を使って講座を開催するために受講生用テキストがあれば・・・」「最低限の機能だけを取り出した備忘録がほしい」などの声があがり、初心者版の発行に至りました。ここでは、応用的な説明部分は省き、パソコンノートテイクを始めるにあたって必要なミニマムエッセンスのみを厳選して1冊にまとめています。詳しい接続・設定や、つまずきやすいポイントなど、細かな説明はガイドにゆずり、支援現場で必要な知識のみをコンパクトにまとめております。これからパソコンノートテイクを行おうと考えているすべての方に、広くご活用いただければ幸いです。

※指導者版の改訂に合わせて、初心者版の内容も改訂しました。

2025年1月 吉日

日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク（PEPNet-Japan）

パソコンノートテイクとは？

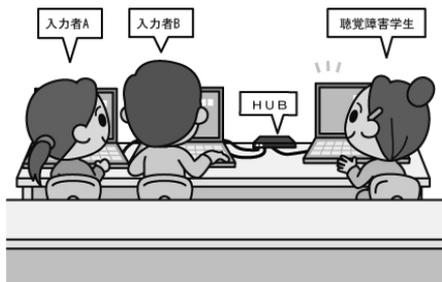
パソコンノートテイクの概要

パソコンノートテイクは、パソコンの文字入力を利用してその場の音情報を伝えるもので、聴覚障害者への情報保障の手段の一つです。大学・短期大学等（以下、大学）で普及している手書きのノートテイクと同様、聞こえてくる音情報をパソコンを用いて入力し、聴覚障害学生に提示します。

支援に特殊な機材は不要で、はじめのうちは一般的なノートパソコンとワープロソフトなどを用いて行うことも可能です。しかし、専用ソフトを用い、複数台のパソコンを LAN でつないで支援することで、より柔軟で多様な支援の実施が可能になります。

本書では、現地入力で導入されている連係入力ソフト「IPtalk」を用いたパソコンノートテイクの方法について、基礎から順を追って解説します。

実際の支援の様子



パソコンノートテイクの特徴

【長所】

- 手書きノートテイク等と比較して情報量が多い
- ある程度の訓練を経れば支援が可能
- 一定時間情報が提示されるため、目を離していても情報取得が容易
- 状況に応じて多様なシステム構成が可能

【短所】

- 機器の購入にコストがかかる
- 支援者養成に一定の時間がかかる
- 数式や記号・図形等の入力が困難

機材の準備・接続方法

ノートパソコンの準備

パソコンノートテイクには、複数台のパソコンを使用します。普段使用しているものを使いまわすこともできますが、設定等のトラブルを防ぐためにも、専用の機材を準備しておいた方が良いでしょう。

ノートパソコン



パソコンは軽くて持ち運びがしやすく、キーボードが手になじみやすいものを選びます。台数はシステムの組み方で異なりますが、一般的には入力者数(普通は2~3台) + 聴覚障害学生用(1台)を1セットとして用意しています。

パソコンには、専用のフリーソフトである IPtalk (アイピートーク) をインストールして下さい。IPtalk の最新版は下記のページから無料でダウンロードすることができます。

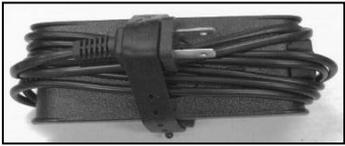
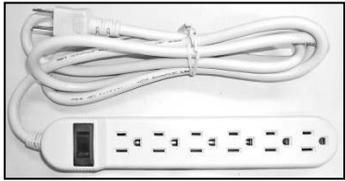
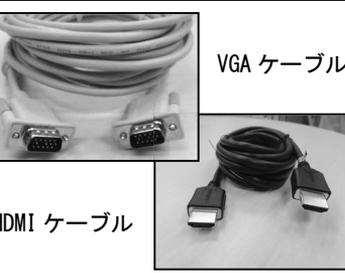
URL <http://www.s-kurita.net/>

このサイトでは、現在確認されている不具合や対策が記載されているので、時折参照すると良いでしょう。



その他の周辺機器

他に、以下のような機材が必要です。

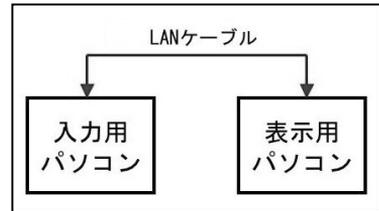
	<p>【電源コード】 パソコンに付属のものですが、教室に持って行くのを忘れやすいので注意しましょう。途中の接続部分が抜けてしまうこともあるので、接続前に確認しましょう。</p>
	<p>【OA タップ】 パソコンの台数+HUB の口数があるものを選びます。3人で入力するときには5口以上のものが必要です。教室の配置によっては電源が確保しづらい場合もあるので、長めのものを用意すると良いでしょう。</p>
	<p>【LAN ケーブル】 パソコンと HUB の接続に使用します。一般的には、「ストレートケーブル」を使用します。以前は「ストレートケーブル」と「クロスケーブル」を厳密に使い分ける必要がありましたが、現在はネットワーク機器が自動判別する機能を備えているため、ほとんどのケースで「ストレートケーブル」を使用できます。</p>
	<p>【スイッチング HUB】（以下、HUB） 一般的なものは電源コードが付いています。USB によりパソコンから電源供給できるものもあります。接続するパソコンの台数に合わせて、差し込み口の数を選択しましょう。</p>
	<p>【プロジェクター】 パソコンノートテイクの文字をスクリーン等に投影する場合に使用します。授業では使わない場合も多いですが、聴覚障害学生が複数いる場合や、行事の時には利用すると便利です。</p>
 <p>VGA ケーブル</p> <p>HDMI ケーブル</p>	<p>【VGA ケーブル】 または 【HDMI ケーブル】 プロジェクターとパソコンを接続する際に用います。一般的にはプロジェクターに同封されていますが、場所の制約で長いものが必要になることがあります。細いものの方が取り回しやすく使い勝手が良いでしょう。パソコンによってどちらかの端子しか搭載していないものもあるため、注意してください。</p>

パソコン同士の接続方法

次にパソコン同士を接続しましょう。接続方法は、2台をつなぐときと3台以上を接続するときで方法が異なります。

2台のパソコンをつなぐ場合

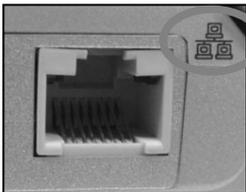
パソコン2台を、LANケーブルで接続するだけなのでとても簡単です。ただしこの場合、2台以上のパソコンは接続できません。



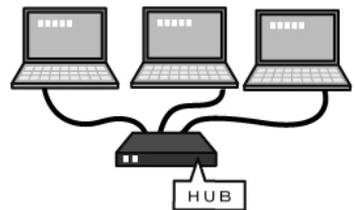
3台以上のパソコンをつなぐ場合

3台以上のパソコンを接続する場合には、HUBを使います。基本的にはすべてのパソコンをLANケーブルを使ってHUBとつなぐだけなので、難しい配線ではありません。

入力台数が増えた場合にも、同じような形で接続可能です。

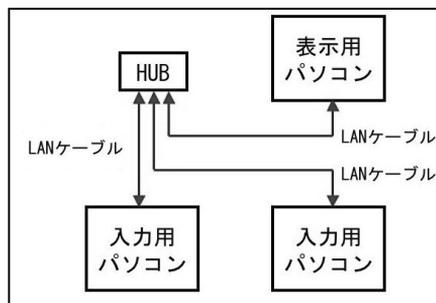


このマークがLANケーブルの差し込み口を示します。カチッと音がするまでしっかり差し込んでください。



接続完了時の状態。すべてのパソコンがLANケーブルでHUBにつながっている。

HUBは、電源を入れ、差し込み口に対応した番号のランプがついているかを確認します。

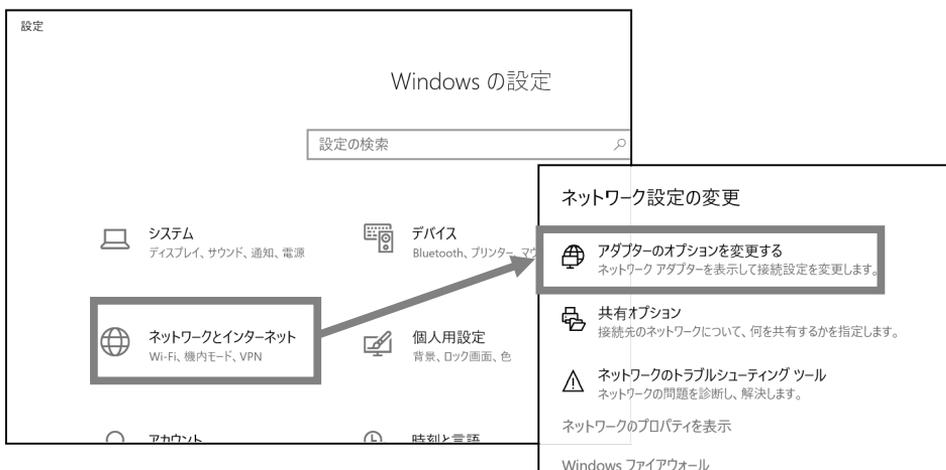


ネットワークの設定

IP アドレスの設定

パソコン同士を接続したら、次は LAN 接続のために IP アドレスを設定します。IP アドレスは、パソコンに割り振られる電話番号のようなもので、パソコン同士を識別するために使われます。

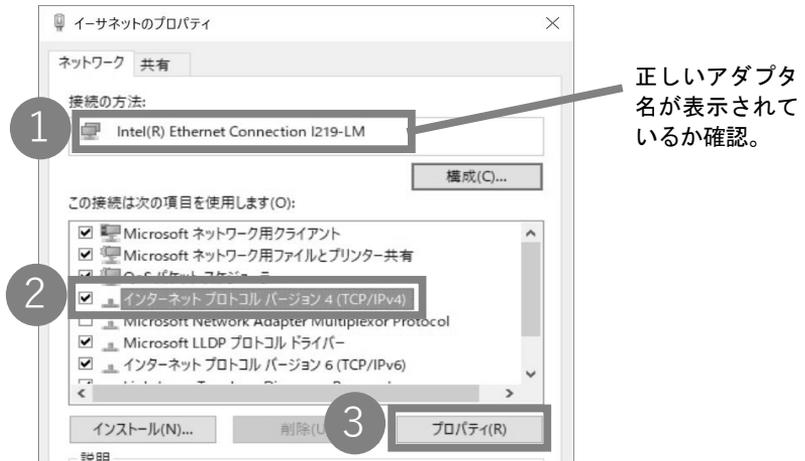
①「スタート」－「設定」－「ネットワークとインターネット」－「アダプターのオプションを変更する」をクリックします。



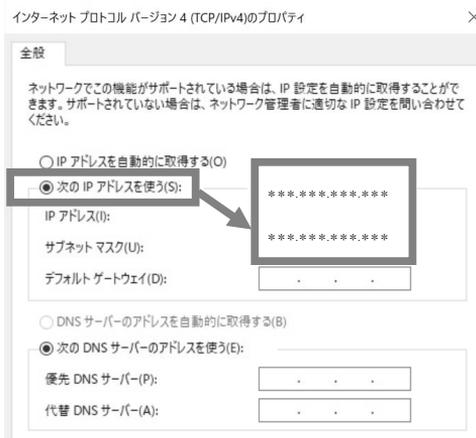
②「イーサネット」を右クリックし、メニュー内の[プロパティ]をクリックします。



③[接続の方法]に LAN アダプタの名称が表示されていることを確認後、[インターネット プロトコル バージョン 4(TCP/IPv4)]をクリックし、[プロパティ]をクリックします。



④[インターネット プロトコル バージョン 4(TCP/IPv4)のプロパティ]画面で[次の IP アドレスを使う]にチェックを入れ、IP アドレス・サブネットマスクを設定し、[OK]をクリックします。



IP アドレスの設定については、各大学のネットワーク管理者にお尋ね下さい。特に規定等がない場合は、下表の標準的な IP アドレスを割り振ることができます。

クラス	IP アドレス	サブネットマスク
A	10. 0. 0. 0~ 10. 255. 255. 255	255. 0. 0. 0
B	172. 16. 0. 0~ 172. 31. 255. 255	255. 255. 0. 0
C	192. 168. 0. 0~ 192. 168. 255. 255	255. 255. 255. 0

一般的によく用いられるのは、クラス C と呼ばれる下記の設定です。

【標準的な設定】

IP アドレス : 192. 168. XXX. YYY
 サブネットマスク : 255. 255. 255. 0
 (XXX・YYY は 0~255 の任意の数字)

このうち IP アドレスは、サブネットマスクが 255 になっている桁までをすべてのパソコンでそろえます。

上記の例の場合 XXX はすべてのパソコンで同じ値を入力し、YYY は他のパソコンと重ならないような数字を割り当てることになります。

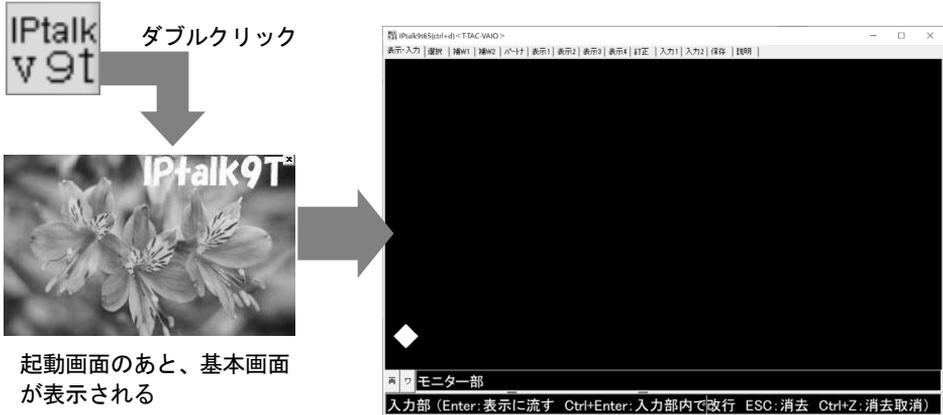
- 例) PC1 192. 168. 1. 1
- PC2 192. 168. 1. 2
- PC3 192. 168. 1. 3 など

これらの設定を変更すると、多くの場合インターネット等への接続ができなくなります。パソコンノートブック用のパソコンを他の用途にも使用する場合には、元の設定をメモし、復旧できるようにしておくといでしょう。

IPtalk の接続設定

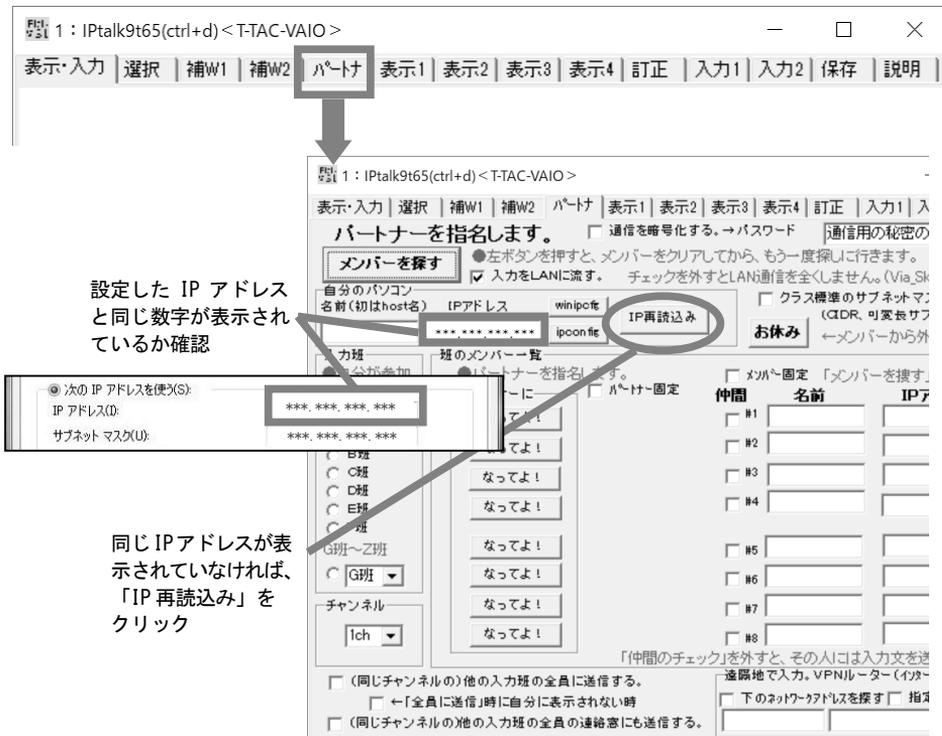
IP アドレスの設定が終わったら、IPtalk 同士の通信設定をしましょう。

①アイコンをダブルクリックして IPtalk を起動します。

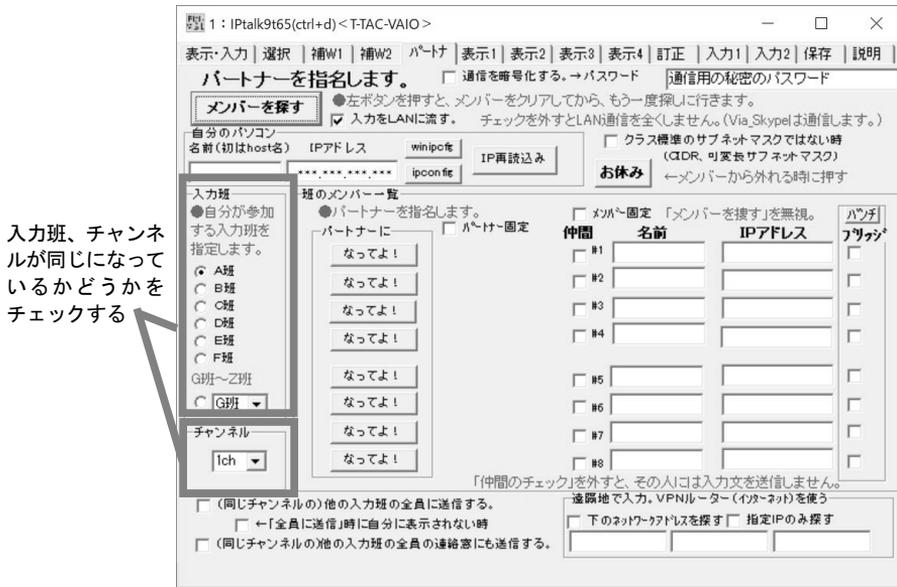


起動画面のあと、基本画面が表示される

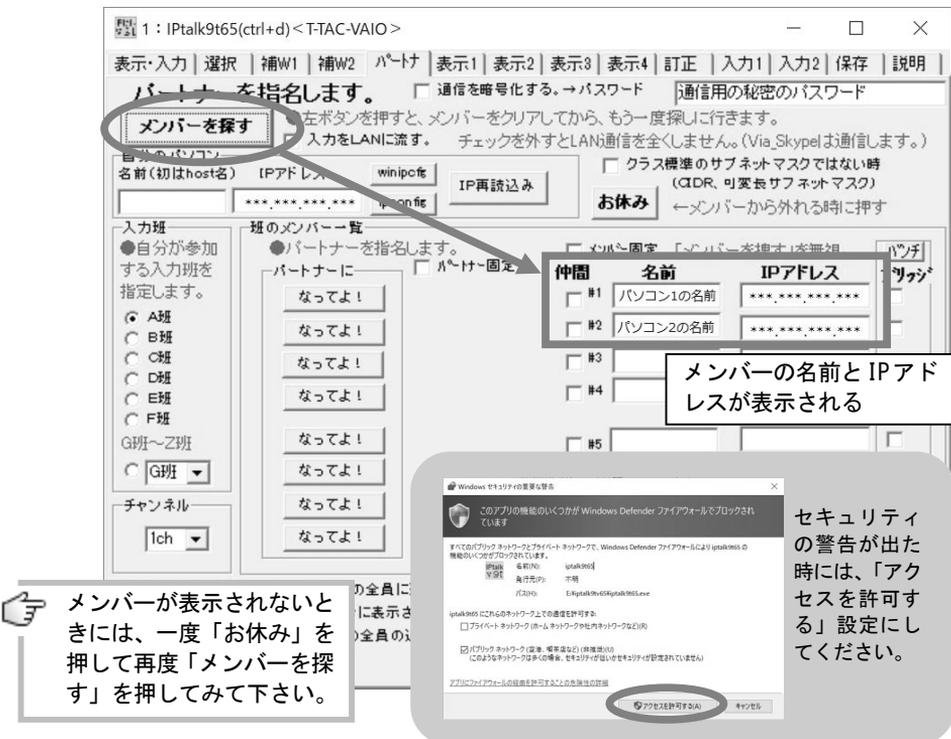
②「パートナ」Tab をクリックし、左下の枠に P6~7 で設定した IP アドレスが正しく表示されているか確認してください。出ていなければ「IP 再読み込み」ボタンを押しましょう。



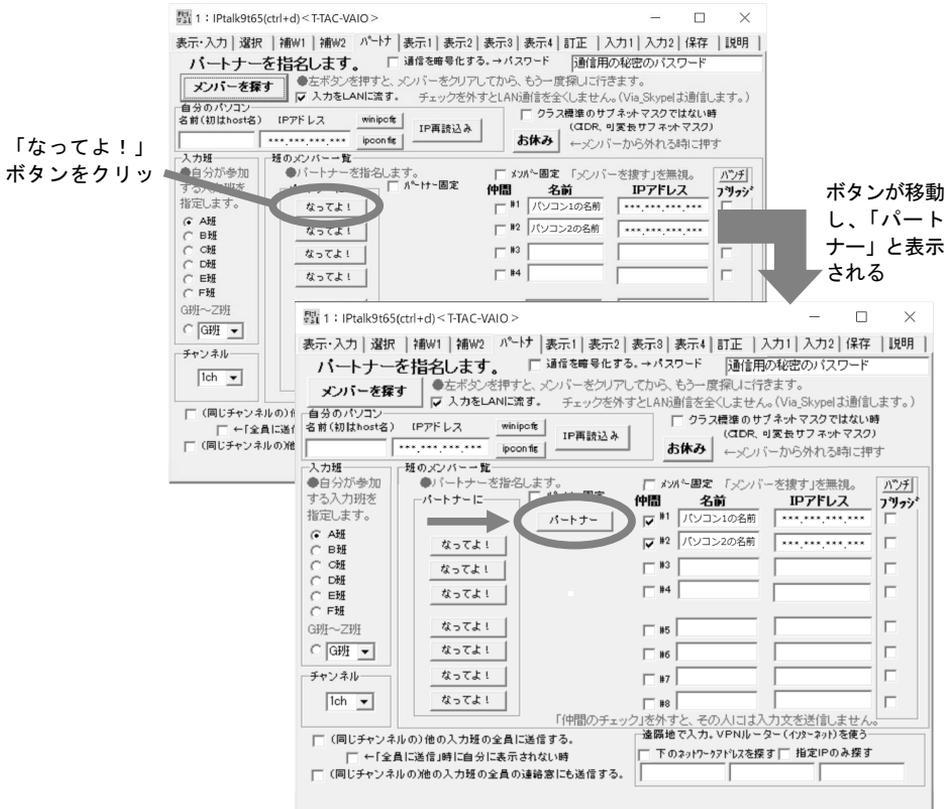
③接続するパソコン同士で入力班とチャンネルをそろえます。班やチャンネルが異なると
 連係入力できません。



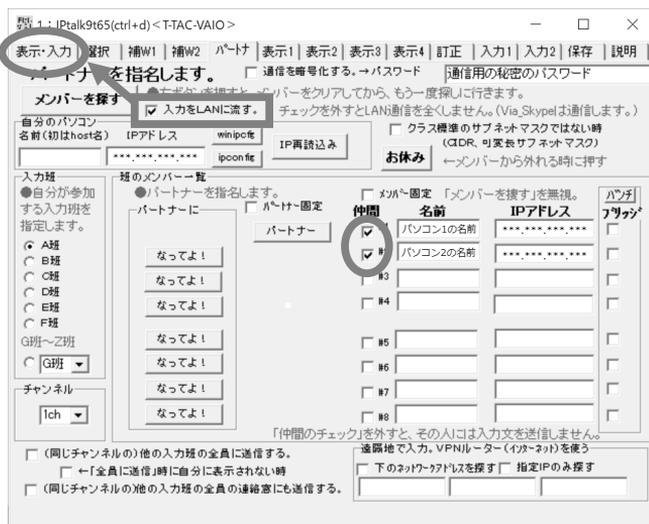
④「メンバーを探す」をクリックします。同じネットワークに入っている人がいると、メン
 ンバー一覧に名前と IP アドレスが表示されます。



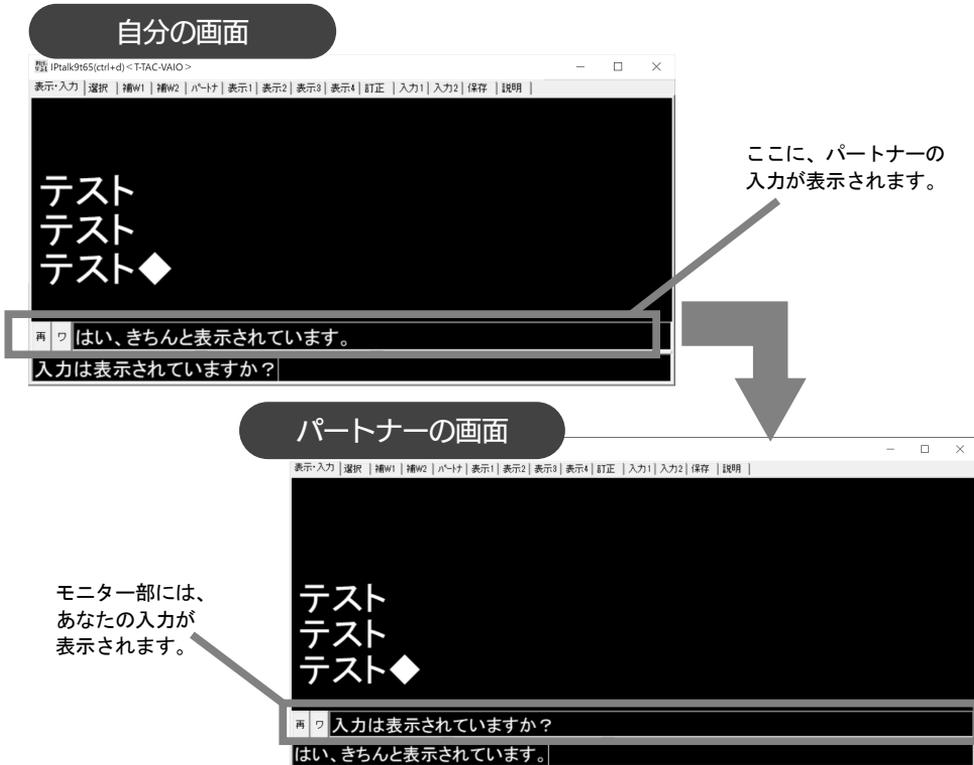
⑤ 関係入力をするパートナーを選んで、パートナーに「なってよ！」ボタンを押すと、「名前」の前に「パートナー」の表示が出ます。



⑥ 最後に「仲間」と「入力を LAN に流す」がチェックされていることを確認し表示・入力 Tab に戻る。



⑦パートナーの入力が、自分のパソコンのモニター部に表示されることを確認しましょう。



両方の画面で確認できれば、接続完了です。

以下に設定のチェックポイントを挙げておきます。これでもうまくいかないときには、次ページ以降の解決方法を参考にしてください。

チェックポイント

- IP アドレスは正しく表示されていますか？
- 入力班・チャンネルはきちんとそろっていますか？
- 10 人以上が同じ班に入ろうとしていませんか？
- パートナーに「なってよ！」ボタンは押されていますか？
- 「仲間」にチェックが入っていますか？
- 「入力を LAN に流す」にチェックは入っていますか？

パソコンノートテイク体験

IPtalk によるパソコンノートテイク

では IPtalk を使いながら、実際のパソコンノートテイクの様子を体験してみましょう。まず、IPtalk を起動しましょう。アイコンをダブルクリックすると、起動画面が出た後、以下のような画面が表示されるはずですが、これが、IPtalk の基本画面です。

IPtalk の起動

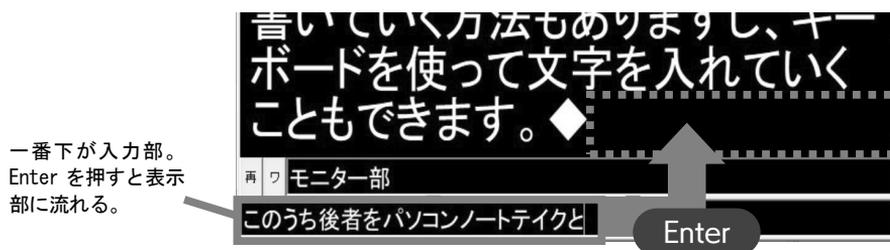


画面は大きく 3 つの部分に分割されています。

入力部・表示部

まず、一番下の入力部です。ここは、自分が文字を入力する枠です。

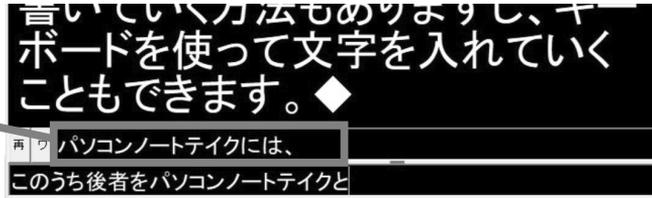
入力した文字は、Enter を押すと上の表示部に流れ、LAN でつながれた聴覚障害学生用のパソコンにも同じ内容が送られます。



モニター部

モニター部には、LAN でつながれたパソコンを利用しているパートナーの入力が表示されます。これを使うことで、二人以上の入力者が関係しながら入力することが可能になります。

パートナーが入力している文字はモニター部に表示される



設定 Tab

表示部の上には小さな Tab (タブ) がいくつか並んでいます。画面の色や文字の大きさ、パートナーの設定など細かな設定は、この Tab で画面を切り替えて行います。



Tab をクリックすると画面が切り替わる



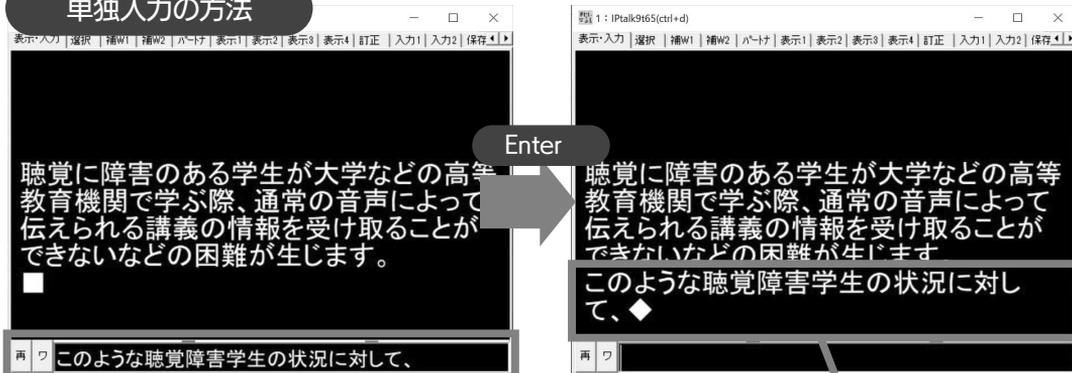
基本画面に戻りたいときは、**表示・入力** Tab をクリック

各 Tab の詳細は P17~参照

実際にやってみよう！

では、実際に短い文章を打ってみましょう。入力部にカーソルを置き、聞こえてきた文章を入力します。Enter を押すと入力した内容が表示部に流れるのがわかると思います。

単独入力の方法

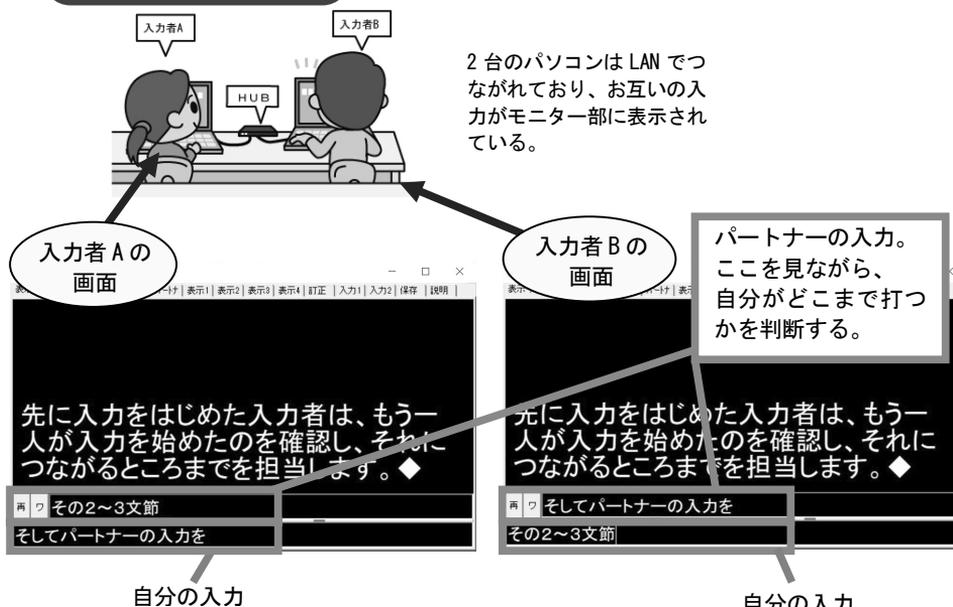


入力部に文字を入力します

Enter を押すと入力した文字が表示部に流れます

入力に慣れてきたら、次は連係入力に挑戦です。連係入力では、二人以上の入力者が共同で一つの文を完成させていきます。あらかじめパートナーとどちらが先に入力するかを決め、入力者 A が入力を始めたら入力者 B はモニターを見ながら 2～3 文節先の言葉を入力します。入力者 A は、入力者 B の文頭を確認してつながるところまでを担当します。

連係入力の方法



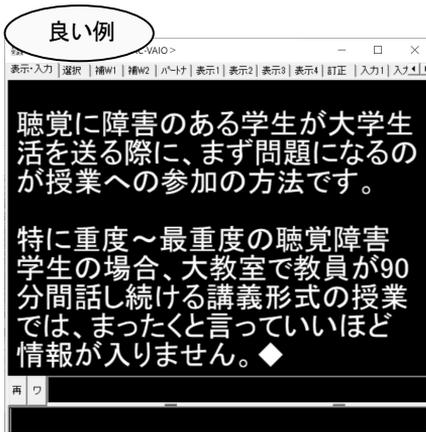
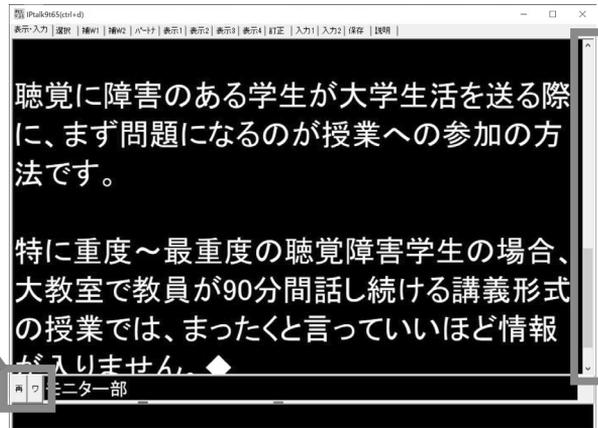
どうでしょう？きれいな文章を入力できましたか？

少し入力に慣れてきたら、以下のポイントに気をつけて練習してみてください。

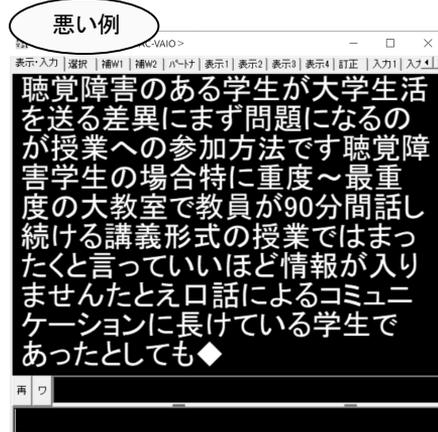
チェックポイント

- 文章がきちんとつながっている
- 「、」や「。」がきちんと入力されている
- 適度に改行が入り、見やすく整形されている
- 漢字の変換ミス等がなく、正確な情報が入力されている

モニター部の左側に出ている「ワ」ボタンをクリックすると、表示画面をワープロモードに切り替えられます。ワープロモードでは、右側のスクロールバーを使って表示されていない部分も確認することが出来ます。再度入力を始める時には「再」ボタンを忘れずにクリックしましょう。



入力ミスがなく、句読点や改行も適度に入っていて読みやすい。



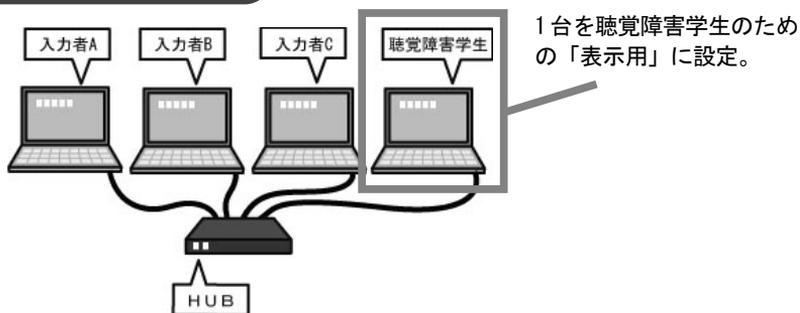
入力ミスや連係入力の失敗が見られる。句読点や改行がないため、文章の切れ目がわからない。

聴覚障害学生用パソコンの設定

実際の支援場面では、聴覚障害学生のための表示用パソコンが必要です。このパソコンでは、入力部やモニター部が表示されず確定された文章のみが流れます。

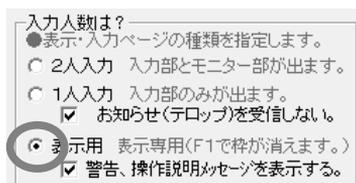
入力した文字をスクリーンに投影するときには、このパソコンをプロジェクタに接続します。

表示用パソコンの設定



設定の手順は以下の通りです。

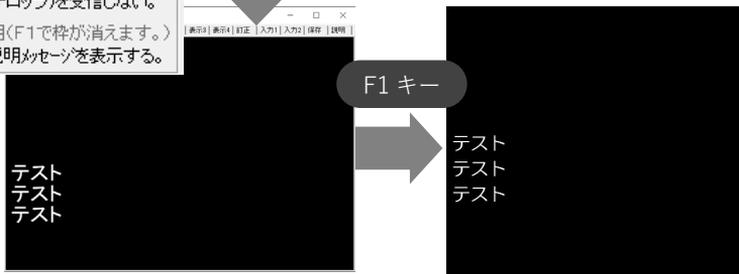
- ① **表示** Tab で「表示用」を選択し、**表示・入力** Tab に戻る。
- ② IPTalk を全画面表示にし、F1 キーを押してメニューやウィンドウ枠を消す。
- ③ 元に戻すときにはもう一度 F1 キーを押す。



表示 Tab で「表示用」にチェックを入れる

「表示用」設定では、モニター部や入力部が消え、表示部のみが画面に表示される。

F1 キーを押すとメニューやウィンドウ枠も消える。元に戻すときは、もう一度 F1 キー。



👉 8人モニタ (P23) を使えば、入力文字をリアルタイムに確認することもできます。

便利な機能と入力のポイント

IPtalk のさまざまな機能

IPtalk には非常に多くの機能が盛り込まれています。ここでは、大学におけるパソコンノートテイクでよく使用される機能に絞って Tab ごとに紹介していきます。

選択 Tab

IPtalk で表示する機能を選択する画面です。初心者用→上級者にいくにしたがって、たくさんの機能が表示されるようになります。

表示されるメニューの数が増え、より多くの機能が使用できるようになる。

初心者用

表示・入力 | 選択 | 補W1 | パート | 表示1 | 入力1 | 保存 | 説明

上級者用

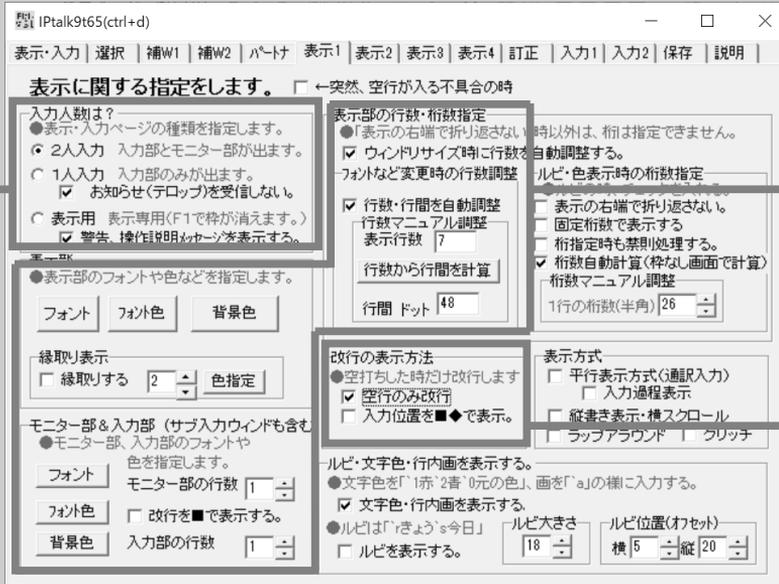
表示・入力 | 選択 | 補W1 | 補W2 | パート | 表示1 | 表示2 | 表示3 | 表示4 | 訂正 | 入力1 | 入力2 | 保存



ここでは「上級者用」を選択しましょう。「初心者用」と比べ、便利な機能がたくさん表示されます。

表示1 Tab

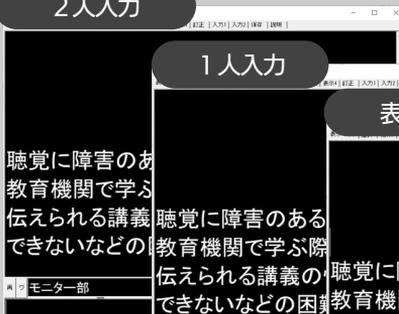
入力用・表示用の設定や表示部の色の設定など、基本的な表示設定に関する機能がおさめられています。



「入力用」と「表示用」の選択

モニター部や入力部の要・不要に応じて、「2人入力」「1人入力」「表示用」のいずれかを選択できます。

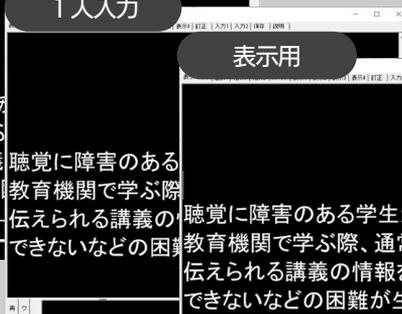
2人入力



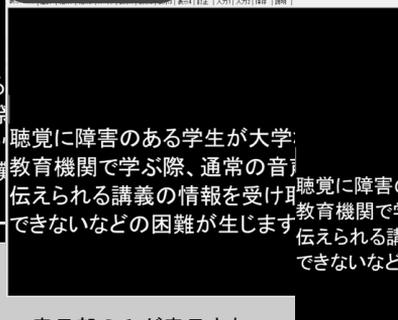
入力部とモニター部の両方が表示される。

モニター部が消え、入力部のみが表示される。

1人入力



表示用



表示部のみが表示される。聴覚障害学生用のパソコンはこれを選択。

F1キー

ウィンドウ枠を消すことも可能。



文字の大きさやフォントの色を変更する

表示部や入力部・モニター部が見つらいときには、フォントの大きさや色を変更することができます。

表示が
見づらい

聴覚に障害のある学生が大学などの高等教育機関で学ぶ際、通常の音声によって伝えられる講義の情報を受け取ることができないなどの困難が生じます。

表示が見やす
くなった

聴覚に障害のある学生が大学などの高等教育機関で学ぶ際、通常の音声によって伝えられる講義の情報を受け取ることができないなどの困難が生じます。

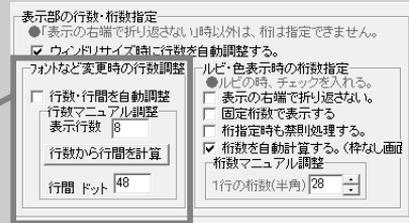
フォントの大きさや色を設定



入力部・モニター部の設定はこちら。行数も調整できる。



表示部の行数・行間設定はこちら。自動設定にするか、行数を入力し、「行数から行間を計算」をクリック。



文字が途切れないように表示する

IPtalkの初期設定では、Enterを押すと改行が挿入され、文章が途切れ途切れに表示されてしまいます。「空行のみ改行」にチェックを入れると、前の文章の続きに文字が入力されるので、表示文が読みやすくなります。

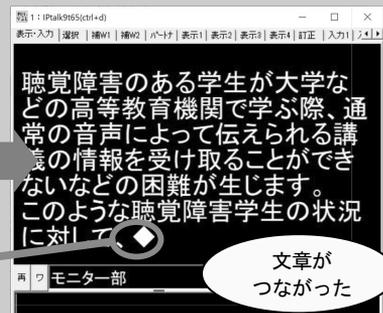
Enterを押すと
文章が途切れる

聴覚に障害のある学生が大学などの高等教育機関で学ぶ際、通常の音声によって伝えられる講義の情報を

表示 | Tab で、「空行のみ改行」にチェック

改行の表示方法
 空行のときだけ改行します
 空行のみ改行
 入力位置を■で表示。

マークの位置に次の文章が入力される。



文章が
つながった

訂正 Tab

表示部に流してしまった文字を修正する際に利用できる機能が設定できます。

表示を訂正する方法に関する指定をします。

F9キー (Undoキー) 修正

- 表示に出した文を入力部に戻す。
- 他人の入力もUndoの対象にする
- 改行を入力部に戻す方法を指定します。(無しは、連結して戻す。)
- 入力部内で改行する。
- 「空行のみ改行」を指定した時
- Undo時、再描画しないといけないので見易くなります。ただし、消す行が多いと画面が空白になってしまいます。
- 再描画する

F11キー (Delキー/Clsキー)

- F11でDel(1字削除)、Shift+F11でCls(画面消去)。受信は、常時。Unddは不可。
- Delキー/Clsキーにする。

F7キー

- F7キーを押すと、選択した範囲を下文字列で囲んで入力部に入れます。
- F7キーを訂正キーにする。

訂正: ↑の「」 ↓の「」です。

訂正送信

- 訂正した部分の色を変え
- 訂正内容をデロップに流すこともできます。
- 表示・送受信する。

訂正送信W表示

確認修正 (バレット)

- 入力保残は下のチェックを入れます。
- 入力をバレットに送信する
- モーター
- 修正保残は、下のボタンを押します。

「送」ボタン修正

- ワープロ画面で修正し、「送」ボタンを押して修正します。
- 「送」ボタン修正を使う
- ワ停止モニター表示
- 「送」ボタン修正する時に表示横と桁数を合わせます。
- パートナーのフォント大きさ、ウィンド幅、表示桁数を受信します。

行数・桁数を合わせる

ウィンドの大きさ

Enterキーを押すと大きさが変わる

幅 649 高さ 494



F9 キーで直前の文字を戻す

表示部に流してしまった文章は、F9 キーを使って表示部に戻すことが可能です。

F9 キー



F11 キーで直前の文字を消す

同様に F11 キーを押すと、表示部の文字が 1 文字削除されます。

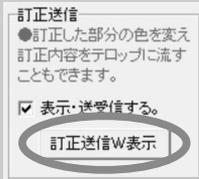
F11 キー

Delete

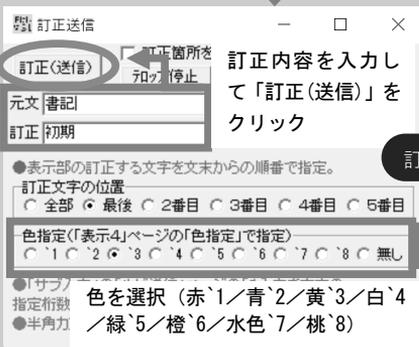


訂正送信ウィンドウで画面上の文字を修正する

修正箇所が画面上に残っていて、補助者がある場合には、訂正送信ウィンドウを用いて修正することも可能です。



訂正後の色は、訂正送信ウィンドウの中で設定することができます。補助の人は、あらかじめウィンドウを開いておくといでしょう。



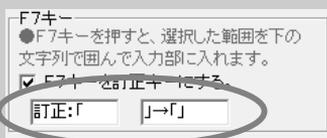
誤入力が訂正され、該当箇所の色が変わる

文章を入力すると初期設定のままではこのように切れてしまう。◆

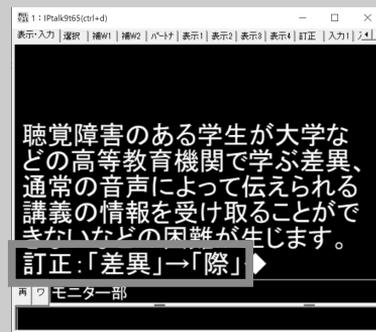
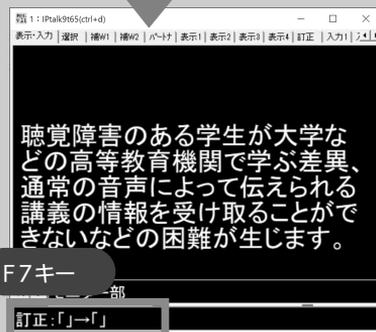


F7 キーで訂正文を送信する

修正箇所が表示部の上の方に流れてしまった時や、すでに画面から消えてしまっている時などは、訂正文を送信することでも修正が可能です。



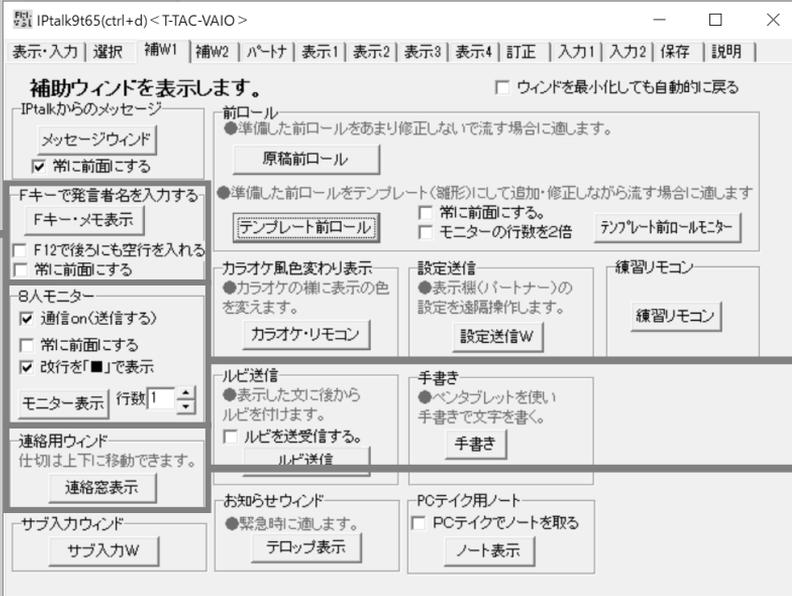
「F7 キーを訂正キーにする」をクリック



「」部に正しい言葉を入力して Enter

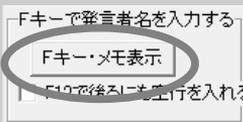
補W1 Tab

Fキー・メモや連絡窓など入力を手助けする便利な機能がたくさん盛り込まれています。各ボタンを押すと小さなウィンドウが別に表示されます。

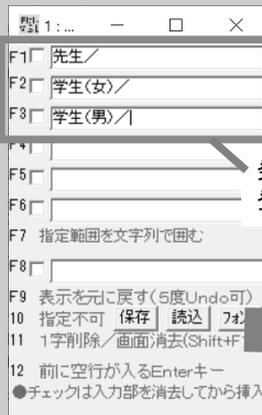


発言者名などを簡単に入力

発言者の名前や本のタイトルなどの長い言葉は、Fキーを使って簡単に省入力できます。繰り返し出てくる言葉は、あらかじめ欄に入力しておくことで便利です。



「Fキー・メモ表示」をクリック



発言者名などを登録しておく。





入力の様子をリアルタイムに表示する

2人以上で入力を行う時や、聴覚障害学生用のパソコンで入力された文字をリアルタイムに表示したい時には、「8人モニター」を使用することができます。ここには同じネットワークにつながっているすべてのパソコンの入力がリアルタイムに表示されます。

8人モニター

- 通信 on(送信する)
- 常に前面にする
- 改行を「■」で表示
- モニター表示 行数 1

補WIJTabで「モニター表示」をクリック。

8人モニターが表示される。

メンバーの名前	入力中の文章
な1	T-TAC-VA 改行符
な2	DESKTOP-
な3	
な4	

バーを下げると設定画面が現れる

実際の表示。入力中の文章が8人モニターに、確定後の文字が表示部に流れる。

人からの申し出で面談が必要となることもあります。また、一回で支援内容が決定しなかった場合には、何度か入学前に貌を合わせて話し合いを行っていくこともあります。◆

メンバーの名前	入力中の文章	確定すると表示部に
な1	T-TAC-VA 面接で重要なのは	
な2	DESKTOP- ある程度の	
な3		
な4		



交代のタイミングを伝える

交代のタイミングを伝えるなど、入力者間で連絡が必要なときには「連絡窓」というチャットボックスを使用することができます。

連絡用ウインド
仕切は上下に移動できます。

「連絡窓表示」をクリック

発言者名の入力、受信時の背景色の設定などはここでやる。

メンバーの名前	入力中の文章
な1	入力A:交代します。
な2	
な3	
な4	

緑色のバーを下げると設定画面が表示される。

メンバーの名前	入力中の文章
な1	入力A:交代します。
な2	
な3	
な4	

入力1 入力2 Tab

入力に関するさまざまな設定を行う Tab です。カッコなどの自動入力が可能です。

入力1

入力に関する設定を行います

Enterで色指定と発音者名を入れる

色指定

発音者名

行が継続する時は入れない

ESCで消した時にも入れる

入力途中クリアメッセージ

表示時間 500 ミリ秒

入力文の送り方

●入力部でEnterとF12を押した時に

「カーソルより前の文を送る。」

漢字変換色

●変換中の文字の色を指定します。

文字色 背景色

表示指定ページの「表示設定」の「保存」で保存されます。

ショートカットキーでウィンドを移動

●開いているウィンドを開いて移動。

ウィンドを開く

●ショートカットキーを 無効にする

入力部

●最上

↑ ↓

F8キー

●入力文の前後をカッコでくくります。

ぐる。

F8

「」 「」

Shift+F8

「」 「」

「」 「」

入力技能判定

●入力部

サブ入

結果

結

8人モニ

●速時

する時、

行部

★

1分間の表示文字数の表示と警告

●表示色は指定した色で表示。

Now(直前1分)、Max(1分の最大)

Ave(10分平均)、AvMs(10分平均の最大)

一分間の文字数表示

説明ページに文字数表記

●指定文字数を超えると入力部を黄色にする。

黄で警告する

100 文字/分

入力部

●自動

にEnterし、表示

16 秒

入力2

F1キーで漢字変換の入力読みを挿入

●変換確定後にF1で読みを入力する。

XP 2000推奨。Me 98 99は制限あり。

半かなカタカナ ひらがな

下の文字で入力読みを囲む

「ルビにする(r'isで囲む)

ルビを覚える方もルビの「表示」

のチェックを入れること。

ルビの挿入位置がおかしな場合は、

一つ前の確定をEnterすること

1分間の表示文字数の表示と警告

●表示色は指定した色で表示。

Now(直前1分)、Max(1分の最大)

Ave(10分平均)、AvMs(10分平均の最大)

一分間の文字数表示

説明ページに文字数表記

●指定文字数を超えると入力部を黄色にする。

黄で警告する

100 文字/分

入力部

●自動

にEnterし、表示

16 秒



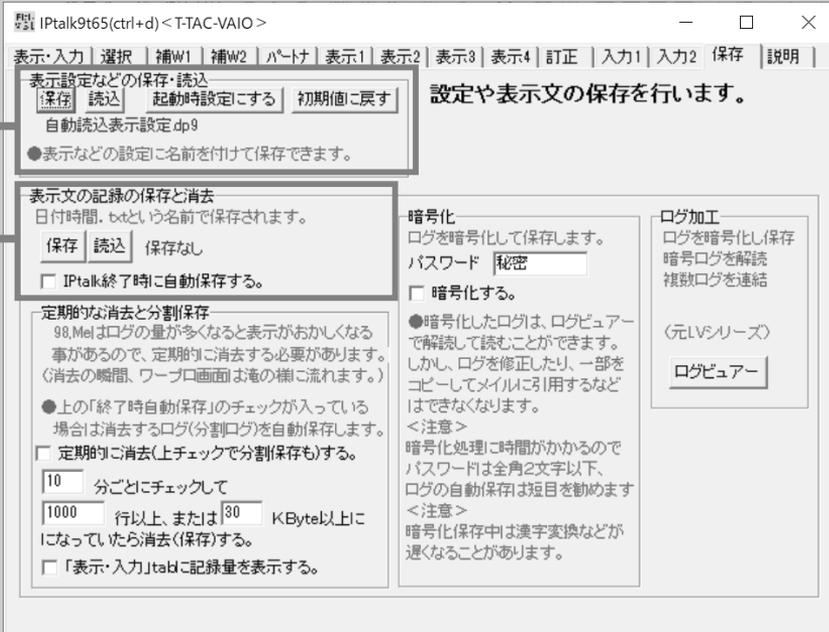
「 」やルビを自動的に挿入する

チェックを入れると、F8 キーやF1 キーで入力文の前後をカッコでくくったり、ルビを挿入できます。スライド「 …」などの文字列を入力しておくことも可能です。

サブ入力ウィンド(ctrl+i) < T-TAC-VAIO > 入力 音声認識説明 ルビ送信 入力	F8 キー →	サブ入力ウィンド(ctrl+i) < T-TAC-VAIO > 入力 音声認識説明 ルビ送信 「入力」
サブ入力ウィンド(ctrl+i) < T-TAC-VAIO > 入力 音声認識説明 ルビ送信 入力	Shift+F8 キー →	サブ入力ウィンド(ctrl+i) < T-TAC-VAIO > 入力 音声認識説明 ルビ送信 スライド「入力…」
サブ入力ウィンド(ctrl+i) < T-TAC-VAIO > 入力 音声認識説明 ルビ送信 入力	F1 キー →	サブ入力ウィンド(ctrl+i) < T-TAC-VAIO > 入力 音声認識説明 ルビ送信 入力(にゅうりょく)

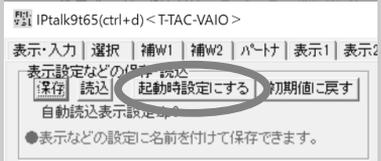
保存 Tab

ここでは、ログや設定の保存を行うことができます。



フォントなどの設定を保存する

フォントや背景などの表示設定は、保存しておくことができます。次回も同じ設定を反映したいときには、「起動時設定にする」をクリックします。

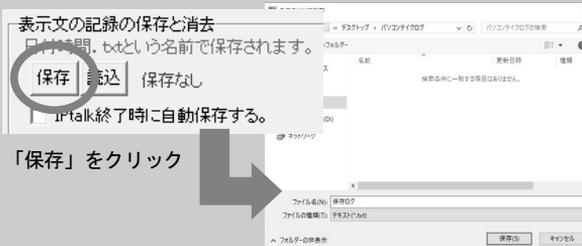


「起動時設定にする」をクリック



入力した文章を保存する

入力した文章は、テキストファイルとして保存が可能です。誤って消してしまわないよう、自動保存させておくことも出来ます。



「保存」をクリック

終了時に自動保存する時にはここをクリック。

IPtalk終了時に自動保存する



テキストファイルとして保存される

効果的な入力のために

早く、効率的に入力するためには、IME(日本語入力ソフト)の機能を活用することも重要です。また、関係時の修正方法や効果的なタイピング練習方法なども知っておくと良いでしょう。

IME というのは日本語入力ソフトのことです。Windows に添付されている Microsoft IME の他、ATOK (ジャストシステム社) などがあります。



IME の単語登録・省入力

「口話 (こうわ)」「失聴 (しつちょう)」などの変換しづらい言葉や、「質問はありますか?」などの決まり文句は、辞書に登録しておくことで簡単に入力が可能です。

MS-IME の場合



「IME ツール」を右クリックし、「単語の登録」を選択

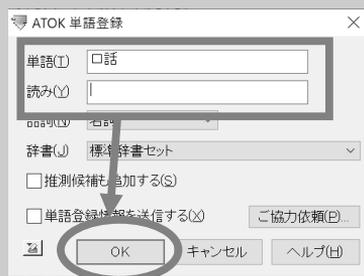


単語、よみを入力し、登録をクリックすると単語が登録される。

ATOK の場合

登録したい単語を選択し、Ctrl+F7 キーを押す。

Ctrl+F7 キー



単語登録画面にてよみを入力し、OK をクリック



連係入力のポイント

交代のタイミングは話の速度や入力者のタイピング速度によって変わります。入力者同士の経験年数が違う場合には、初心者が先に打ち始め、経験者が交代をリードしましょう。

【入力速度が同程度の場合】

再 W 支援の内容を決定するためには、
本人がどのような支援を求めているか
再 W 確認しなければなりません。
多くの場合、受験相談や入学前相談が

【入力速度に差がある場合】

再 W 支援の内容を
決定するには、本人がどんな支援を求めているか
再 W 確認しなければ
なりません。多くの場合、受験相談や入学前相談が

2人とも同じぐらいのタイミングで交代する。 初心者が先に打ち始め、経験者が様子を見ながらリードする。

連係がうまくいかず、入力が入れ替わってしまったときには、それぞれが F9 キーを押して誤り部分を戻し、その後、正しい順番になるように入れ替えます。

入力順が入れ替わってしまった!

それぞれ、1回ずつF9キーを押して入力を戻す。

正しい順番に入れ直す。



入力のポイント

連係入力には、タッチタイピングの技術が必須です。タッチタイピングの練習には、楽しみながら技術の向上が望めるタイピング練習ソフトを用いると良いでしょう。ある程度慣れたら、次は音楽や講義テープを題材に、聞きながら入力する練習をするとい良いでしょう。

【タイピング練習ソフトの例】

・寿司打 (ブラウザ/開発: Neutral)
<https://sushida.net>
ブラウザ上でできる無料タイピング練習ゲーム。レベルが選択できるので初心者でも楽しめる。

・美佳のタイプトレーナ (フリーソフト/開発: 今村二郎氏)
<https://www.asahi-net.or.jp/~BG8J-IMMR/>
無料で利用できるタイピング練習ソフト。タイピング初心者から高速タイプを目指す人まで練習ができる。 ※ブラウザ版あり

このほかにもたくさん
のフリーソフト等
が出ています。

よくあるトラブルと解決方法

ネットワーク設定に慣れない
 ちは、IPtalk 同士がなかなかつ
 ながらない!とのトラブルが生
 じがちです。ここでは、IPtalk
 の接続で生じやすいトラブルと
 解決方法について解説します。

トラブルシューティング



モニター部にパートナーの入力が
 表示されない!

を受け取る...ができませんこの
 困難が生じます。◆



パートナー Tab を開いてください

パートナーはメンバーに表示されていますか?

No

Yes

トラブルの解決には原因の分析が
 不可欠です。まずは、以下のチャ
 ートにしたがってネットワークのど
 こに問題が生じているのかを検討
 してください。



メンバーに表示されない!



「IP 再読み込み」を押してください。

自分の IP アドレスは正しく表示されていますか?

No

Yes



10.14.1.1 と表示されている!



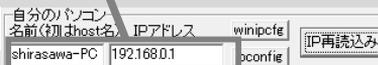
IP アドレスが2つ表示されている!



正しい IP アドレスが選択されていますか?



別の IP アドレスが表示されている!



無線 LAN が ON になっていませんか?

IP アドレスの設定が間違っていないですか?



大切なのは、その場の情報保障を行うことです。
どうしてもつながらないときには、一人入力に切り替えたり、手書きのノートテイクをするなど、代替手段を考えましょう。

- パートナーに「なってよ！」ボタンは押されていますか？
- 「入力を LAN に流す」はチェックされていますか？
- 「仲間」にチェックが入っていますか？

「なってよ！」ボタンが動かない！

- 他の人とパートナーになっていませんか？
- 他の人がその人とパートナーになっていませんか？
- 「パートナー固定」にチェックをしていませんか？

- 「メンバーを探す」ボタンを押しましたか？
- 入力班・チャンネルはあっていますか？
- 「メンバー固定」にチェックが入っていませんか？
- 同じ班に 10 台以上のパソコンをつないでいませんか？
- サブネットマスクは正しく入力されていますか？
- 同じ HUB につながっていますか？
- ウィルスソフトのファイアウォールが有効になっていませんか？
- IPTalk のバージョンはそろっていますか？

ネットワークとインターネットを開いてください。
ローカルエリア接続は有効になっていますか？

ネットワークとインターネット Wi-Fi, 機内モード, VPN	イーサネット 識別されていないネットワーク Intel(R) Ethernet Connectio...
-------------------------------------	--

- No
- Yes → IP アドレスの設定が間違っていないですか？

ローカルエリア接続が無効になっている！

- 右クリックして「有効」を選択して下さい。
- IP アドレスの設定が間違っていないですか？

ネットワークケーブルが接続されていないと表示される！

- もう一度接続を確認してください。
- LAN ケーブルはしっかりと差し込まれていますか？
 - HUB の電源は入っていますか？
 - 電源タップはコンセントにつながっていますか？
 - コンセントのスイッチは OFF になっていませんか？
 - LAN ケーブルが UPLink につながっていませんか？
 - LAN ケーブルは切れていませんか？



参考情報

パソコンノートテイクについては、地域のパソコン要約筆記サークルや要約筆記者派遣協会などで多くの情報を得ることができます。また、IPtalk の各機能を紹介したマニュアルも販売されていますので、参考としてご利用いただければ幸いです。

● IPtalk の配布先

<http://www.s-kurita.net/>

頻繁に更新されているので、まめにチェックすると良いでしょう。

● 参考資料

・パソコンノートテイク導入支援ガイド「やってみよう！パソコンノートテイク」

<https://www.pepnet-j.org/contents/archives/2190>

本書の詳細版です。はじめてパソコンノートテイクを導入する大学を対象に、つまづきやすいポイントやトラブルシューティング等、丁寧に説明しています。

・パソコンノートテイクスキルアップ！教材集 やってみよう！連係入力

<https://www.pepnet-j.org/contents/archives/2178>

発行：日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク

PEPNet-Japan で作成した、「連係入力」のスキルアップ教材です。

・パソコン文字通訳（要約筆記）者 養成テキスト

～聴覚障害者の「話のすべてを知る権利」を守るために～

<https://mojitsuken.sakura.ne.jp/wp/yousei/>

発行：特定非営利活動法人 全国文字通訳研究会

価格：2,230 円＋送料（2025 年 1 月現在）

・要約筆記者養成テキスト第 2 版補完資料（自習書）

初めて使う IPtalk -1- 操作手順書（チュートリアル）

<http://zenyouken.jp/>

発行：特定非営利活動法人 全国要約筆記問題研究会（全要研）

著者：栗田 茂明

価格：2,500 円＋送料

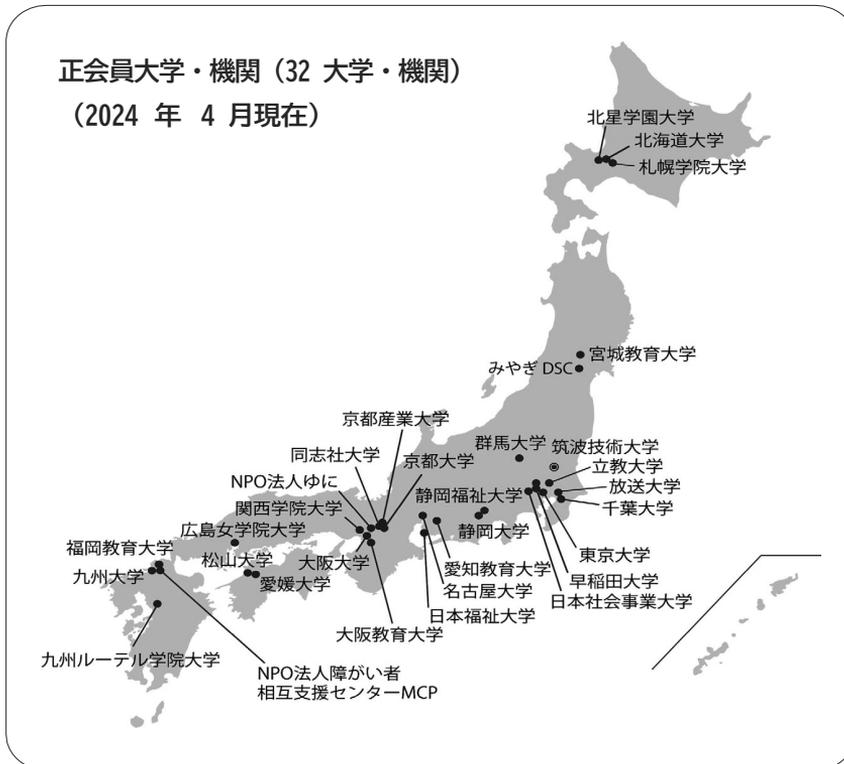


PEPNet-Japan

日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク (PEPNet-Japan) について The Postsecondary Education Programs Network of Japan

日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク (PEPNet-Japan) は、全国の正会員大学・機関と共に聴覚障害学生支援のパイオニアとして、聴覚障害学生のニーズに寄り添い、時代に横たわるさまざまな課題に取り組みながら、新たな事例やノウハウを生み出し、発信していくことを使命としています。あわせて全国の大学における聴覚障害学生支援の実態に目を向け、そこから学びを得るとともに、支援が行き届いていない大学における支援体制を引き上げていくことが、我々の責務であることを自認しています。これらのミッションを達成し、よりよい支援体制を1つでも多くの大学等に広げていくため、「高めあう」「ともに学ぶ」「協働する」「発信する」「つながる」をキーワードに活動を展開しています。

2024年4月現在、32大学・機関に正会員としてご協力頂いております。



パソコンノートテイク導入支援ガイド： やってみよう！パソコンノートテイク

初心者用
これだけは！
改訂版

発行日：2009年9月30日 初版
2011年9月30日 第2版
2025年1月31日 第3版（改訂版）

発行：日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク（PEPNet-Japan）

編集：白澤麻弓（筑波技術大学障害者高等教育研究支援センター）
磯田恭子（筑波技術大学障害者高等教育研究支援センター）
改訂版編集協力：吉田幹矢（筑波技術大学大学院情報アクセシビリティ専攻修了）

日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク（事務局）
〒305-8520 茨城県つくば市天久保 4-3-15
筑波技術大学障害者高等教育研究支援センター

※本事業は、文部科学省特別教育研究経費による拠点形成プロジェクト（筑波技術大学）の一部です。





パソコンノートテイク導入支援ガイド
やってみよう！パソコンノートテイク

初心者用
これだけは！
改訂版